ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

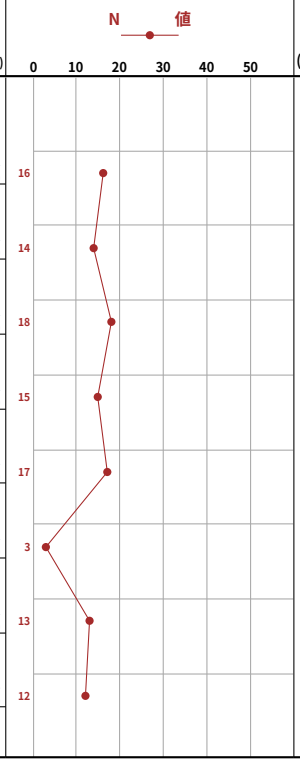
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-6			調査位置						北　緯	36 ° 19 ' 27.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所					調査期間	2007-02-21 ～ 2007-02-21			東　経	139 ° 49 ' 59.0000 "
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	36.72 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					シルト (M)	暗茶			含水量、粘性は共に中程度。		02/21 1.28
1	35.62	1.10	1.10								
	35.02	0.60	1.70		粘土混り砂礫 (GS-C)	淡茶			径20～40mmの礫が主体。粘土が混入している。		
2					礫混り砂 (S-G)	緑灰	中ぐらい		粗砂が主体。径5～20mm程度の亜円礫が混入している。含水量は多い。		
3											
4											
5	31.12	3.90	5.60								
6					砂混りシルト (M-S)	乳灰		軟らかい	細砂が混入している。含水量は多く、粘性は強い。		
	29.82	1.30	6.90								
7					礫混り砂 (S-G)	緑灰	中ぐらい		粗砂が主体。径5～20mm程度の亜円礫が混入する。含水量が多い。		
8	28.27	1.55	8.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	4	5	7	16／30	16
1.45					
2.15	4	5	5	14／30	14
2.45					
3.15	5	5	8	18／30	18
3.45					
4.15	5	4	6	15／30	15
4.45					
5.15	6	5	6	17／30	17
5.45					
6.15	1	1	1	3／30	3
6.45					
7.15	4	4	5	13／30	13
7.45					
8.15	3	4	5	12／30	12
8.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/21